

2024年7月30日

【U.S.M.H セミナーイベントレポート 7/24 開催】 「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」

「BEYOND MEAT 社」CEO・Ethan Brown 氏（初来日）が登壇！ 「プラントベースフードの拡大」をメインテーマに、フードテックの最先端についてセッションしました



ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田元宏 以下 U.S.M.H）は、プライベートブランド「Green Growers」がお届けするセミナーイベント「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」を、米国・プラントベースフード業界の先進的企業「BEYOND MEAT 社」との共同開催で、7月24日（水）に都内会場で実施しました。

今回初来日した「BEYOND MEAT 社」創業者・CEO の Ethan Brown（イーサン・ブラウン）氏、人工光型植物工場の企画・設立・運営サポートを行う株式会社プランテックス代表取締役社長・山田耕資氏がゲストスピーカーとして登壇し、それぞれの専門領域におけるフードテックの最先端についてスピーチしました。

＜イベントの様子をまとめた動画を公開しています URL: <https://prtmes.jp/tv/detail/2971>>



中央：BEYOND MEAT 社 CEO Ethan Brown 氏
右：株式会社プランテックス 代表取締役社長 山田耕資氏
左：U.S.M.H プログラムマネジャー 満行光史郎



スピーチする Ethan Brown 氏

「BEYOND MEAT 社」CEO・Ethan Brown 氏 スピーチより（要旨）

※日本語訳：ブレインウッズ株式会社の同時通訳より引用

～会社概要、事業背景、プラントベース市場の状況と展望～

私が「BEYOND MEAT」を始めたのは、大学院生のとき、人生の目標やキャリアについて相談した父に、「世界が直面している一番大きな問題は何か」と問われたことがきっかけでした。言葉にしよと考えると私がかいた答えは「気候変動」です。どんな仕事でも、気候不安定になればたちまち危機にさらされるなら、それを解決するようなキャリアを考えようと思ったのです。気候変動の対策では当時、グリーンエナジー、電気自動車、燃料電池など日本は有名な研究をしていて大変興味がありましたが、エネルギーについて議論する国際的な会議の場では、ディナーにバーガーや豚肉が提供されているのを知り、そのとき気づいたのです。交通で排出する CO₂ に比べて、私たちは身体への燃料補充を通して、より多く CO₂ を排出しているのではないかと。ならばエネルギーへの投資を食品にあてはめ、植物由来肉を作れないかと考えたのです。

さらに我々は、現在不安定な4つの問題を解決する必要があると考えました。「人の健康」、「地球環境」、土地利用などの「天然資源」、そして「動物愛護」です。動物由来のたん白質を植物由来にすれば、これらを解決できると考えて「肉」の研究を始めたところ、構成要素であるアミノ酸、たん白質、脂質、脂肪、トランスミネラル、トランスビタミン、水・・・これらはすべて植物にも存在することがわかりました！生命の構成要素は、植物も動物も同じなのです。「肉」と同じ構成要素をもつ植物から、植物由来肉をつくることで、とても大きな貢献ができるのです。

日本はとても美しいところです。子どもたちの未来を守るために、よりよい世界を残すために、私たちは現状を打破するアクションを起こさなければなりません。そのために私たちは1日に3回、何を口にするのか意思決定するチャンスがあります。我々自身が、我々の運命、地球の将来を変えていくことができます。賢い選択を一緒に行っていきましょう！

株式会社プランテックス 代表取締役社長 山田耕資氏 スピーチより（要旨）

～会社概要、事業背景～

我々は、ものづくりの分野で実績をあげたメンバーが中心になって立ち上げた、植物工場のスタートアップ企業です。世界的に見ても類がない植物工場だと考えており、その一番の特徴は、栽培装置が閉じた密閉構造である点です。オープン型の植物工場では部屋全体をコントロールする必要がありますが、クローズ型は範囲が小さいため、緻密な調整が可能になり、栽培室は自動化、無人化しています。

未知の領域が大きい植物をコントロールするため、我々はまず、成長に必要な環境条件を網羅的に整理することからスタートしました。大きく光、空気、水に分類される20の環境条件で、個別かつ正確に、個々のパラメーターをコントロールし、どの装置の栽培環境も最適化する再現性の高さを実現しています。

この栽培装置によって、2022年茨城県土浦市に植物工場「THE TERRABASE（ザ・テラベース）土浦」が完成しました。洗わずに食べられるほど菌数が少なく衛生的に管理された状態で、農薬も使わずに安心して食べられるほか、レタスひとつで12ℓの水を節約できる、とても優れた商品です。24時間以内に各店舗に配送するサプライチェーンが構築され、フレッシュな状態で供給できるようU.S.M.H.にしっかり販売活動をしていただき、非常にやりがいがあります。

現在、事業化に向けて植物を多様化し、社会実装する開発を続けていますが、その背景には、2050年、農地、水、人が不足するなか今より食料が1.7倍必要になるという深刻な課題があります。ギャップを埋めるために、資源効率が高く、安定的に、季節問わず誰もが簡単に「食」をつくることのできる植物工場は、ひとつの重要なキーテクノロジーだと考えています。これは我々にとって大きなビジネスチャンスであり、こうした技術を世界に発信することで地球規模の課題に貢献できればと考えています。



U.S.M.Hプログラムマネジャー 満行光史郎 スピーチより（要旨）

～主催挨拶、会社概要、プライベートブランド「Green Growers」について～



「Green Growers」は、2022年6月にU.S.M.Hが立ち上げたプライベートブランドで、安心安全、健康的、環境にやさしい、の3つをコンセプトで商品開発を行っています。今回ご登壇いただくゲストスピーカーのお二人とU.S.M.Hが出会ったきっかけが、このブランドでしたので、「Green Growers & BEYOND MEAT® CONFERENCE」としてこのイベントを開催させていただきました。

株式会社プランテックスとU.S.M.Hは、U.S.M.Hとして初の自社植物工場となる「THE TERRABASE 土浦」設立に関して2020年に業務提携を行いました。当時、U.S.M.Hが思い描いていた未来の農業に関する思いと、プランテックス社が目指していたサステナブルな農業の考え方が見事に同じ方向を目指しており、非常に自然な流れで立ち上げに至りました。現在は、2023年6月に共同で立ち上げた持続可能な都市型野菜のサプライチェーン構築を目指すコンソーシアム「SEED」を通して、さらなるパートナー企業さまと取り組んでいます。

そしてBEYOND MEAT社とU.S.M.Hの出会いは、「Green Growers」立ち上げ直後のことです。「あなたの体はあなたの食べたものでできている」というブランドコンセプトの先行事例として、代替肉の分野の知見を深めたいという思いで現地工場を視察させていただき、ぜひこのブランドで取り扱いたいと考えて2022年9月に日本で初めて独占販売契約を結ばせていただきました。現在、「BEYOND MEAT®」や加工食品をU.S.M.Hの店舗で販売しています。



ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社

〒101-0029 東京都千代田区神田相生町1番地

Tel.03-3526-4761